

日本スピリチュアルケア学会  
 人材養成プログラム認定  
 1. 基礎データ

(必要な場合は、記入欄の行数、ページ数を増やしてご記入下さい)

申請年度: 2021年度

組織名(和文) * 必須	一般社団法人高知がん患者支援推進協議
組織名(英文) * 任意	
代表者氏名	松浦 喜美夫 E-mail: <a href="mailto:gan-soudan@aroma.ocn.ne.jp">gan-soudan@aroma.ocn.ne.jp</a>
事務担当者氏名	川澤 成子 E-mail: <a href="mailto:kawazawamasako19800412@yahoo.co.jp">kawazawamasako19800412@yahoo.co.jp</a>
組織所在地	高知県高知市旭天神町280ヴィラハイツ旭203 電話: 090-1575-4013 E-mail: <a href="mailto:gan-soudan@aroma.ocn.ne.jp">gan-soudan@aroma.ocn.ne.jp</a>
設立年	2007年
沿革	<p>2007年10月 高知県からの委託を受け、がん相談センターこうち開設</p> <p>2010年 人材養成講座 第1回スピリチュアルケア専門職養成研修開講</p> <p>2011年4月 人材養成講座 第2回スピリチュアルケア専門職養成研修開講</p> <p>2012年5月 人材養成講座 第3回スピリチュアルケア専門職養成研修開講</p> <p>2013年6月 人材養成講座 第4回スピリチュアルケア専門職養成研修開講</p> <p>2014年 スピリチュアルケア提供者養成研修</p> <p>2015年 スピリチュアルケア提供者養成研修</p> <p>2016年 スピリチュアルケア提供者養成研修</p> <p>2017年 スピリチュアルケア提供者養成研修</p> <p>2018年 スピリチュアルケア提供者養成研修(高知大学医学部附属病院共催)</p> <p>2019年 スピリチュアルケア提供者養成研修(高知大学医学部附属病院共催)</p>
組織の目的、ミッション・ステートメント等	<p>がん相談センターこうちは、平成19年高知県がん対策推進条例の制定に基づき、高知県のがん患者・家族らの全人的ケアを行う事を目的に、多様ながん治療の情報収集と提供を行い、さまざまな研修・勉強会を通して広く県民の皆様にごがん医療の啓蒙・啓発運動を行い、高知県のがん医療の向上に貢献するものである。</p> <p>スピリチュアルケア提供者養成研修は、がん患者・家族らに対しスピリチュアルケアを提供する事を目的に、社会におけるスピリチュアルケアの重要性を認識し理解を深め、スピリチュアルケアを実践する為に自身のスピリチュアリティを認識し、がん患者や家族らに対し専門的なケアを行える人材を養成するものである。</p>

## 2. 教育担当者一覧

(必要な場合は、記入欄の行数、ページ数を増やしてご記入下さい)

### 1) グループワーク、スーパーヴィジョン、演習 等担当者

2012年以前就任の者を、日本スピリチュアルケア学会スピリチュアルケア師(指導)[暫定期間は2024年3月31日まで]候補として推薦する。

	氏名 NAME	就任年 性別(年齢)	主担当科目(2科目まで)
1	伊藤 高章 Ito, Takaaki	2010年	スピリチュアルケア基本概念 個人スーパーヴィジョン
2	窪内 真巳子 Kubouti, Makiko	2016年	個人スーパーヴィジョン グループワーク
3	川澤 成子 Kawazawa, Masako	2016年	個人スーパーヴィジョン グループワーク
4	西村 勇子 Nisimura, Yuuko	2019年	臨床実習

### 2) 講義科目等 担当者

講義科目担当のみの者は、日本スピリチュアルケア学会スピリチュアルケア師(指導)への推薦は行わない。

(必要な場合は、記入欄の行数、ページ数を増やしてご記入下さい)

	氏名 NAME	就任年 性別(年齢)	主担当科目(2科目まで)
1	伊藤 高章 Ito, Takaaki	2010年	スピリチュアルケア論 スピリチュアリティ論
2	安岡 ゆり子 Yasuoka, Yuriko	2010年	スピリチュアルケア論 政策とケア
3	福岡 正博 Fukuoka, Masahiro	2013年	スピリチュアルケア論 地域医療
4	松浦 喜美夫 Matuura, Kimio	2020年	スピリチュアルケア論 がん医療
5	窪内 真巳子 Kubouti, Makiko	2020年	スピリチュアルケア論 緩和ケア
6			
7			
8			
9			
10			

## 3. 人材養成教育領域 充当表

- 1 貴組織提供の人材養成科目を、「専門資格認定方針」付表1. の教育領域別に記入して下さい。
- 2 一つの科目が複数の教育領域内容を含む場合は、該当する領域全てに科目名を記入し、時間数を領域ごとに分割して記入して下さい。
- 3 別添書類として、貴組織提供の人材養成プログラム教育課程表(カリキュラム:書式自由)を提出して下さい。

時間	科目名	他団体から借入科目の場合は提供団体名
<b>&lt;基礎領域&gt;</b>		
思想・宗教・伝統・文化 36 時間	日本を中心としつつ、広く人類の思想・宗教・伝統・文化に関する基礎的な知識を持つと同時に、その中におけるケア提供者自身を基盤づけているスピリチュアリティの位置づけと特徴についての深い理解に繋がる教育。特に、ケアの基礎となる、共同体と個人との関係について、その変遷や潜在的可能性への洞察力を養う教育。	
6 6 6 6 6	死生学概論 宗教学概論 哲学概論 歴史学 現代思想	
心理・力動・援助 36 時間	個人の成長に関わる個人因子と環境因子への理解、対人関係における社会学的心理学的メカニズムの理解、援助関係における「権力」構造の理解のための教育。社会構築、言語と解釈、非指示的療法、傾聴、パターンリズム、自立・自律、投影、転移・逆転移等の基本概念の教育。	
6 12 6 12 6	臨床心理学概論 患者学・社会学概論 精神医学概論 ケア学・コミュニケーション概論学 医学概論	
<b>&lt;専門領域 A&gt;</b>		
スピリチュアリティ論 24 時間	思想・宗教・伝統・文化の歴史性・多様性に基づく、スピリチュアリティの体系的教育	
3 3 3 3 3 3 3 3 3	スピリチュアリティとは がん患者とスピリチュアリティ スピリチュアリティとは自己理解 疼痛とスピリチュアリティ 宗教とスピリチュアリティ 政策とスピリチュアリティ スピリチュアリティと自己理解 スピリチュアリティと無意識の意識	
スピリチュアルケア論 24 時間	援助者・対象者間のスピリチュアリティの力動に基づく、ケアの体系的教育	

3	がんチーム医療とスピリチュアルケア
3	緩和ケアとスピリチュアルペイン
3	医療倫理とスピリチュアルケア
3	在宅ケアとスピリチュアルケア
3	サイコオンコロジーとスピリチュアルケア
3	がん患者学・家族学
3	死生観とスピリチュアルケア
3	地域医療とスピリチュアルケア
<b>&lt;専門領域B&gt;</b>	
グループワーク	心理およびスピリチュアリティの次元でおこる、自己および他者の内的力動と対人的力動を体験的に理解し、効果的にケアを提供できる能力を養う教育
臨床スーパーヴィジョン 60/120 時間	スピリチュアルニーズを理解しケアする臨床力を、個人スーパービジョンならびにグループスーパービジョンをととして育成する教育
12	成育歴グループワーク
6	自己表現グループワーク
12	個人スーパーヴィジョン
12	会話記録グループワーク
12	グループスーパーヴィジョン
6	成果報告・グループワーク
臨床実習 120/240 時間	スピリチュアルケアが求められる医療・福祉・教育・産業その他の、臨床現場におけるチームケアに参加する。
100	会話研修(臨床)
20	サロン・患者会・がん患者支援イベント参加
<b>&lt;専門領域C&gt; ※参考記載</b>	
スピリチュアリティの涵養	援助者各自のスピリチュアリティを育成する教育
6	ホスピス・ボランティア研修(高知緩和ケア研究会)
継続教育	臨床活動を行う援助者を継続的にサポートし専門性を維持するための教育
12	訪問スピリチュアルケア・カンファレンス